

FLORA DANICA

Personal Order Service

2014年2月

(株)ロイヤル コペンハーゲン ジャパン (本社:東京都千代田区 代表取締役社長 黒崎 正幸)では、フローラ ダニカ オーダー会をロイヤル コペンハーゲン 丸の内本店にて開催いたします。

世界でも特別な評価を得ているフローラ ダニカは、デンマークの文化遺産として歴史に刻まれ2世紀以上にわたり引き継がれています。

これにあわせて、デンマークより【フローラ ダニカ】のマスターペインターが来日し、ハンドペイントによる絵付け実演を行います。

会期: 2014年3月11日(火) 11時~、14時~、16時~、18時~ (各回1時間)

場所: ロイヤル コペンハーゲン 本店

東京都千代田区有楽町 1-12-1 新有楽町ビル 1階

03-3211-2888



Master Painter : Judith Sorensen

40年にわたってロイヤル コペンハーゲンのオーバーグレイズペインターに従事。デンマーク マルグレーテ女王のために制作されたディナーセットをはじめ、王室のパーティーで使用されるディナーウェアなどに携わっています。

Flora Danica Story...

フローラ ダニカは、1761年にコペンハーゲンで出版された植物図鑑の題名から名付けられました。プレートに施された装飾や絵付けは、この図鑑からオーバーグレイズ技法により忠実に再現したものです。最初のフローラ ダニカは1790年ロシアの女帝エカテリーナ2世への贈り物として制作が始まりました。この仕事はあまりに遠大だったため、ついに完成することはありませんでした。当初の計画では、デンマークに生息する植物を約2,600個の器に描くというものでした。この壮大な作業を命じられたのは、ヨハン クリストフ バイエルただひとりでした。彼は、Royal Danish Porcelain Manufactoryの中で最も優れたペインターでした。製作開始から6年後の1796年に、エカテリーナ2世が亡くなり、1802年になってもまだ完成しないまま、王命によって作業は中止されました。12年間の作業で、合計1,802個の製品が完成していました。

1803年1月29日、国王クリスチャン7世の誕生日の宴会で、初めてフローラ ダニカが使用されました。王室では、1900年頃まで特別な機会に使用されてきましたが、以後は後世に伝えるべく保存されています。現存する1,530個のうち主なものは、現在コペンハーゲンのローゼンボーグ城に国宝として展示されています。最初の制作から200年以上経た現在でも高い技術は受け継がれ、当時と変わることなく制作され、世界中の人々を魅了しています。

〈読者からのお問合せ先〉

ロイヤル コペンハーゲン 本店 東京都千代田区有楽町 1-12-1 新有楽町ビル 1階 TEL 03-3211-2888

www.royalcopenhagen.jp

〈商品のお貸出し・本件に関するお問合せ先〉

株式会社 ロイヤル コペンハーゲン ジャパン

108-0073 港区三田 1-4-28 三田国際ビル 10階 マーケティング部 辻本・清石

090-6938-0972 tsujimoto@royalcopenhagen.co.jp